

古町芸妓育成支援事業成果発表会
第3回「華つなぐ道」開催！



成果発表会のようす

古町芸妓育成支援協議会（行形和滋会長・担当事務局）は、第3回古町芸妓育成支援事業成果発表会「華つなぐ道」を、3月25日、古町芸妓総出演により、りゅうとぴあ（新潟市民文化会館）能楽堂で開催しました。

当日は、経済界や柳都振興の関係者の他、公募（申込多数により抽選）によって招待された一般市民合わせて約330名が来場。

第一部は、「長唄・囃子」4曲が披露され、第二部は、「武田節」をはじめとした男振り等の舞踊が披露された後、最後は芸妓全員による「新潟甚句」で締めくくりとなりました。衣装は振袖や留袖ではなく、普段では見ること

の出来ない稽古着姿での発表会であり、若い芸妓は特に緊張した面持ちで臨んでいました。

県下最大級のリフォームフェアに出展！
建設・不動産業部会

建設・不動産業部会（本間達郎部会長）では、ビジネスチャンスの拡大を図るため、3月5日（土）、6日（日）に産業振興センターで開催された「日報住まいのリフォームフェア2016春」（主催：新潟日報社ほか）に昨年続いてブースを出展しました。

新潟商工会議所建設・不動産業部会ブースには、同部会から7事業所が参加し、チラシやパネル、住宅模型や実験装置などを展示し、来場者に自社の商品やサービスを積極的にPRしました。

出展事業者からは、「多くのお客様に自社の宣伝ができた」、「次回もぜひ



部会ブースと出展者の皆様

出展したい」などの声が聞かれました。なお、同フェアは、親子連れなど多くの人で賑わい、2日間で17500人が来場しました。

花柳界から教わる
幸せになる人との接し方とは
教育福祉医療部会講演会



講演する千代里氏

教育福祉医療部会（渡邊毅部会長）は、3月9日、参加者約100名のもと、元新橋のNO.1芸者でエッセイストの千代里氏を講師に迎え、『福をもたらず人との接し方』と題した講演会を開催しました。

千代里氏は、芸者という道を選択してからトップに立つまでの挫折や苦悩、花柳界の裏話などリアルな内容に触れ、「自分のことを認め、常に感謝の気持ちを持つことで、福が訪れる人との接し方ができるようになる」と説明しました。

普段聞くことができない花柳界の話に、参加者は大いに関心を寄せていました。

在任中から勇退後まで経営者を手厚くサポートします。

保険をくりと変える。

アクサの
企業
経営

サポート
シリーズ

98定期付終身保険

AXA アクサ生命
redefining / standards

98歳満了非更新型定期保険特約付無配当終身保険

会社を守りながら、
ご勇退後のセカンドライフをより豊かなものにするために。
アクサの「企業経営」サポートシリーズ

在任中

「経営リスク」への備え

ご勇退

「役員退職慰労金」の準備

●アクサ生命は、商工会議所と協力し、会員事業所の各種ニーズ（弔慰金・見舞金制度、退職金制度、リスク対策や事業承継など）を共済制度/福祉制度でサポートしています。
●本商品をご検討の際には、「重要事項説明書（契約概要・注意喚起情報・その他重要なお知らせ）」【ご契約のしおり・約款】を必ずご覧ください。
新潟支社 新潟営業所 〒950-0078 新潟県新潟市中央区万代島5-1 万代島ビルディング10F TEL 025-243-0048

AXA-A1-1302-0339/9F7

IoT、ビッグデータを活用した
輸送・物流業界の今後を学ぶ
〜輸送業部会〜

輸送業部会（高橋浩部会長）は、3月8日に部会を開催しました。参加者は41名。

当日は、経済産業省流通政策課物流企画室総合戦略担当係長の川嶋雄作氏から、経済産業省におけるIoT（モノのインターネット）、ビッグデータ活用の取組みについて説明を受けました。

川嶋氏からは、流通・物流業におけるビッグデータの活用を通じた新たな産業モデルの在り方を議論する研究会や自動走行車、並びにドローンによる物資配送事業の将来像などについて解説がありました。



講演する川嶋氏

工場の底力を学ぶ
〜工業部会モノづくり支援セミナー〜

工業部会（洪井信之部会長）は3月16日、55名の参加により、(株)浜野製作所代表取締役浜野慶一氏を講師に迎え、

「江戸っ子1号」に賭けた夢」と題し、セミナーを開催しました。

浜野氏は取引先やスタッフ、地域の人々に支えられ、大きな経営危機から持ち直したことや様々なプロジェクトへの取組みについて説明しました。

8000メートルの深海を目指す「江戸っ子1号」プロジェクトのテーマは「下請け体質からの脱却」。大企業等から言われたものを作るだけでなく、対等に提案・提言して、ものづくりに取り組むことが重要であると強調しました。

通常議員総会の上程議案を審議
〜総務委員会〜

各部会・委員会の部会長、委員長で構成する総務委員会（富山修一委員長）を、3月10日、15名の出席で開催しました。

協議事項は通常議員総会に上程の「平成28年度事業計画（案）並びに平成28年度収支予算（案）」について慎重審議の結果、いずれも原案どおり承認しました。また、事務局から、11年連続で新規加入件数200件以上を達成したとの報告がありました。

新潟版DMOの構築について研究
〜政策委員会〜

政策委員会（田巻清文委員長）は、3月10日、今年度4回目となる委員会を開催し、昨秋から焦点を当てて取り組んでいる「DMO（Destination Marketing/Management Organization）」について研究しました。

当日は、この分野の専門家である（公財）日本交通公社主席研究員の山田雄一氏を講師に迎え、昨今注目を集めているDMOの背景や今後の展開、また新潟におけるDMOの構築について詳しく説明を聞いた後、意見交換を行いました。

山田氏によると、DMO構築時の検討事項は大きく分けると、「対象範囲」、「位置づけ」、「誰がやるのか」、「財源」、「評価方法」という5項目となり、今後委員会でもこれらの点などを深掘りしながらさらに議論を深めていく予定です。

「古町大学」の最終講座が終了!

「古町大学」（当所主催）会員向け4回シリーズの最終講座が、3月17日に終了しました。

同講座は、古町地区の魅力的な店の経営者や古町に縁の深い方々を講師に迎え、それぞれの歴史や街への想いなどを語ってもらい、古町のファンを増やしていくことを目的に開講しているもので、今回は当所が今年創立120周年を迎えることから、古町の中でも120年以上の歴史を持つお店や企業を訪問し、店主からお店の魅力や老舗たる所以、古町に対する思いなどについて語ってもらいました。

行形亭で行われた修了式で、参加者は、「普段は知ることができないお店の伝統や、それを維持していくための努力を理解することができた」と、古町の魅力を再認識している様子でした。

自然の雪を利用した貯蔵施設「雪室」を見学
〜女性会視察見学会〜

当所女性会（竹林昭代会長）は、3月3日に、魚沼の暮らしと文化に触れ、新潟の魅力を見学しようをテーマに、南魚沼市の「魚沼の里」への視察見学会を実施しました。参加者は29名。

雪国ならではの貯蔵庫「雪室（ゆきむろ）」には、高さ13メートル奥行15メートル、約1000トンもの雪が蓄えられており、冬場は約2℃、夏場でも約4℃に保たれた環境を利用して、日本酒や野菜などが貯蔵されていました。また、その後、併設されている雪室関連商品の販売施設等を見学しました。

魚沼の風土が育んだ自然を活かす雪国ならではの知恵は、新たな商品への付加価値を生み出しており、経営におけるヒントを得る良い機会となりました。



見学する女性会メンバー